

第五次多摩市総合計画第2期基本計画の構成等について

1 総合計画の位置づけ

総合計画は、多摩市の将来都市像とまちづくりの基本的な方向性を示し、市民と行政の共通の目標として、総合的・計画的にまちづくりを進める上での根幹となる計画です。

また、多摩市の様々な行政計画（部門別計画、個別計画など）の中で、最上位に位置づけられる計画です。

2 総合計画の構成

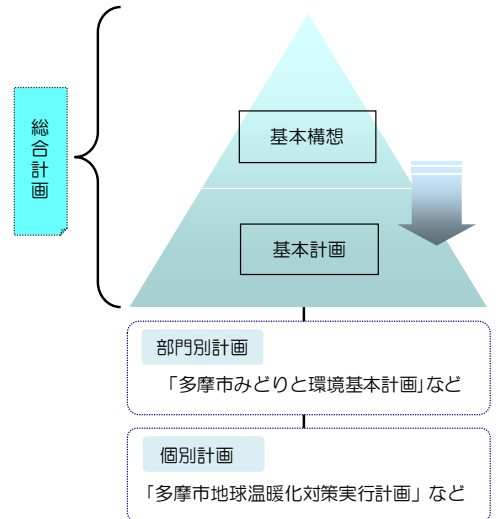
総合計画は、基本構想と基本計画の2層で構成されるとともに、評価・予算との連動（PDCAサイクル）と行政改革により推進していきます。それぞれの概要は以下のとおりです。

(1) 基本構想

期間：平成 23（2011）年度からの概ね 20 年間

概要：概ね 20 年後を見据えた、まちづくりの基本理念のもと多摩市の将来都市像や、目指すまちの姿、「目指すまちの姿」の実現に向けた基本姿勢などを示します。

期間中の社会・経済情勢の動向等を見極めながら、必要に応じて見直しを行います。

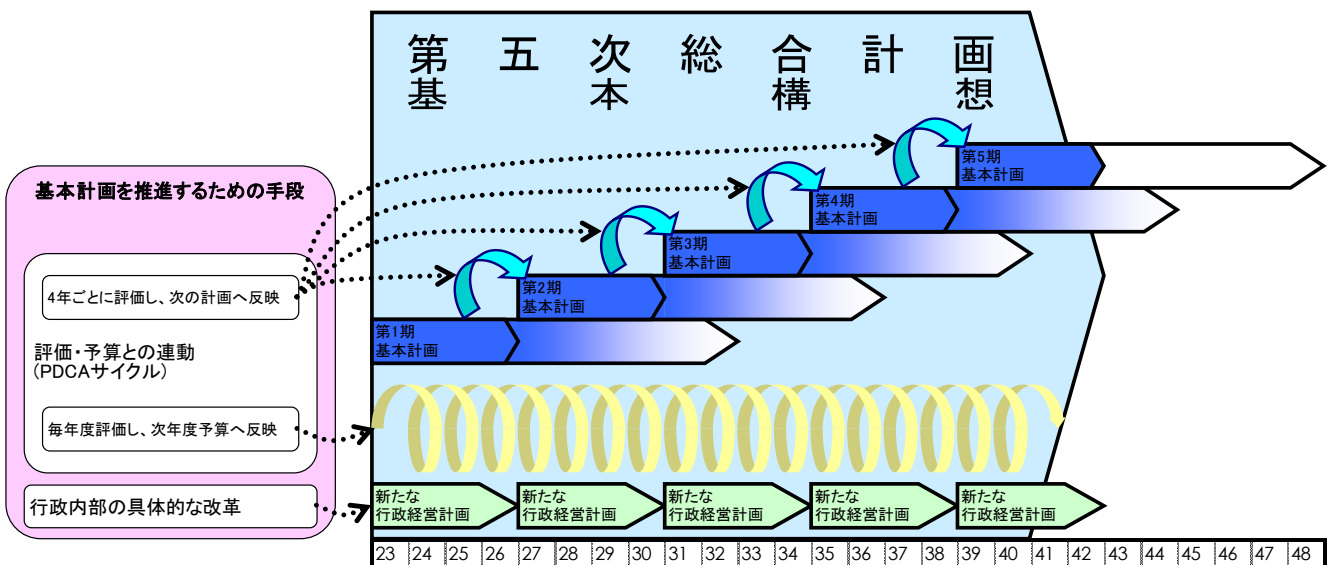


(2) 第2期基本計画

期間：平成 27（2015）年度からの概ね 10 年間

概要：基本構想に定めた「目指すまちの姿」を実現していくための政策、施策や財政の見通し等を示します。また、目標の達成状況を把握するための成果目標値を設定します。

計画の実効性を確保するため、4年ごとに10年間の計画として改定していきます。



基本構想

基本構想は概ね20年後の多摩市が目指すまちの姿を表したまちのビジョンです
まちづくりの基本理念のもと多摩市の将来都市像や目指すまちの姿などを示します

まちづくりの基本理念

- 1 市民主権による新しい地域社会の創造
- 2 豊かなまちを次代へ継承
- 3 自立的な都市経営

基本構想のバックボーンであり、今後20年間の多摩市のまちづくりに対する最も基本となる考え方として、3つの基本理念を設定しました

多摩市の将来のあるべき姿を市民・議会・行政が共有するものとしてイメージしやすい言葉で表現しました

みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩

将来都市像

目指すまちの姿

将来都市像が実現したときのまちの姿で、4つの視点と6つの「目指すまちの姿」及びその取組みの方向性を示しました

市民の暮らし	市民の力・地域の力	活力ある都市	環境
①子育て・子育てをみんなが安心して、子どもたちの明るい声がひびくまち	②みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち	③みんなが楽しみながら地域づくりを進めるまち	④働き、学び、遊びみんなが活れる安全で快適なまち
⑤いつまでもみんなが住み続けられる安全なまち	⑥人、自然、環境を大切にす		

「目指すまちの姿」の実現を支える

「目指すまちの姿」の実現に向けた基本姿勢

- 1 市民主体のまちづくりの推進
- 2 持続可能な質の高い行政運営の推進

基本計画

基本計画は基本構想に定めた「目指すまちの姿」を実現するための取組みの方向性や市民が果たすことのできる役割、財政の見通し等を示します

持続可能なまちづくりを推進するための基本的な考え方

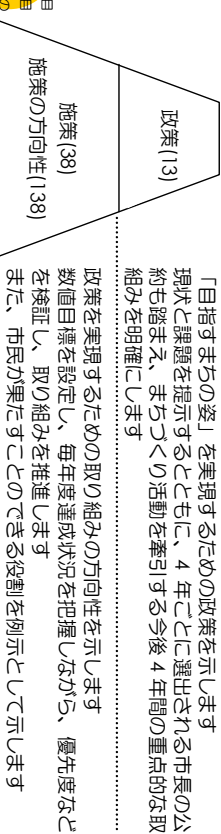
●第2期基本計画における3つの取組みの方向性

- 1 **健康都市（スタートウエルネスシティ）・多摩の創造**
身体面での健康だけでなく、だれもが幸せを実感できるまち
- 2 **市民がデザインするまち・多摩の創造**
市民が主体的に地域課題の解決に取り組むまち
- 3 **発信！未来へつなぐまち・多摩**
まちの魅力をさらに高め、持続可能で未来につながるまち

3つの取組みの方向性

分野別計画

●基本構想の「目指すまちの姿」を実現するための分野別の取組みの方向性を示します



計画を推進するために

計画の実現に向けた取組みの方向性

- 行財政改革の取組み
⇒歳入に見合った歳出構造への転換と歳入の確保、適正なサービス水準の検証などを行います
⇒NPOや事業者等と積極的に協働し、優れたノウハウの発揮によるサービスの充実を図ります
- 公共施設等のマネジメント
⇒公共施設や都市基盤施設の全体の状況を総合的に把握し、現況・将来の見通しを分析した上で、総合的に管理します
⇒他市と比べ高い水準にある公共施設を「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の方向性を踏まえ見直ししていきます

行政評価と運動したマネジメントサイクル

